

5 市の取組

(1) 業務継続のための市全体の取組

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民へのサービス提供が滞りなく遂行できるよう市庁舎等（公共施設を含む。）における感染症対策を徹底して実施しました。

◇基本的感染症対策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員を最小限とした上で会議等を実施 ・ 広い会場で人との間隔を取って会議等を実施 ・ 時間を短縮して会議等を実施 ・ 分散勤務による業務継続 ・ 会議等を書面開催により対応
◇窓口における感染症対策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話、郵便、インターネットにより申請手続を実施 ・ 相談業務等については、事前予約制により実施
◇施設における感染症対策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手指消毒の徹底 ・ サーモグラフィーによる検温の実施 ・ パーティション／飛沫防止シートの設置 ・ 利用者名簿の活用 ・ 開館時間の短縮
◇感染症対策の啓発
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報えびな掲載 ・ 防災行政無線放送 ・ 看板設置 ・ デジタルサイネージ掲載 ・ 市内施設等のパトロール巡回



分散勤務の様子



飛沫防止シートを設置

□ 参考事例

- ・ 特例郵便等投票制度に基づく投票の機会の確保（選挙管理委員会事務局）
- ・ 選挙における開票事務従事者の減員（選挙管理委員会事務局）
- ・ 防災行政無線放送による感染症対策等注意喚起（市長室危機管理課）
- ・ 確定申告相談業務に係る受付方法を事前予約制に変更（財務部市民税課）
- ・ 市県民税申告に係る0申告の受付方法を変更（財務部市民税課）
- ・ 軽自動車税に係る減免申請方法の変更（財務部市民税課）
- ・ 収集業務において、業務員ごとに使用する車両を半固定化
(経済環境部資源対策課)
- ・ 公園利用における感染症対策を看板及びデジタルサイネージ等により啓発を実施（まちづくり部都市施設公園課）
- ・ 相模川河川敷でのバーベキュー等の利用状況現地調査（まちづくり部）

エ 市庁舎における環境整備【財務部財産・車両課】

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、サーモグラフィーカメラや消毒液、飛沫防止用透明パーティション等を購入し、庁舎施設等に設置しました。また、共有部分について除菌作業を実施しました。
- ・感染対策として臨時的自動車通勤が実施されたことに伴う催事広場駐車場の設置・整備を行いました。

□ 実績（令和6年3月31日現在）

- ・サーモグラフィーカメラ設置等工事
(1,276,220円)
- ・庁舎カウンター等除菌作業
(庁舎管理業務委託内で実施)
- ・庁舎施設抗菌作業（業者寄附により実施）
- ・消毒液・パーティション等消耗品購入（令和2年度：1,669,708円）
(令和3年度：921,470円)
(令和4年度：538,560円)
(令和5年度：89,760円)
- ・催事広場駐車場整備（25,300円）
- ・会議室等の確保（会場賃貸借契約（4件分）：666,250円）



オ 「海老名市新型コロナウイルス感染症等に係る対応ガイドライン」

【保健福祉部保育・幼稚園課】

保育所等の児童や保育従事者に新型コロナウイルス感染症等が発生した場合において、各園での対応について必要な事項を定めるため、標記ガイドラインを令和3年12月に策定しました。保育所等の児童や保育従事者に新型コロナウイルス感染症等が発生した場合には、ガイドラインに定められた対応フローに基づき、各園との円滑な連携が図られています。

カ 「収集及び選別員にクラスター感染が発生した場合の対応について」

【経済環境部資源対策課】

収集業務を継続して実施できるよう、第31回新型コロナウイルス感染症対策本部会議（令和3年8月19日）において、クラスターが発生した場合は、燃やせるごみの収集維持、容器包装プラスチック、ペットボトルの収集維持を中心として業務継続を図る収集業務の方針を決定しました。

(2) 財政措置

ア 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【財務部企画財政課】

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）に基づき、感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生を図ることを目的に交付金を支給するもので、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう地方公共団体が作成した新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画に基づき交付金が充当されました。

□ 令和2年度交付実績 ※国から提示された交付限度額に基づき交付申請【通常分交付金 交付限度額 1,186,312千円】

- 令和2年4月1日以降に実施され、かつ新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等を通じた地方創生に資する事業（経済対策に対応した事業）の実施に要する費用の全部又は一部を負担する事業

内訳	
・ 第一次配分（令和2年7月3日交付）	213,254千円
・ 第二次配分（令和2年9月30日交付）	664,323千円
・ 第三次配分 令和3年度繰越額（令和3年5月20日交付）	308,735千円
配分額合計	1,186,312千円
※第三次配分には別途補助裏分の交付あり	

- 交付金充当事業

	事業名	事業費	充当額
1	中小企業等事業継続支援事業	501,980 千円	392,577 千円
2	プレミアム付商品券発行事業	604,000 千円	485,000 千円
3	50周年記念プレミアム付商品券発行事業	720,180 千円	308,735 千円
合計		1,808,160 千円	1,186,312 千円

【補助裏分 交付限度額 72,671 千円】

※国庫補助事業等の地方負担額を基礎として算定した額

・内容

概要	国庫補助事業等（令和2年度補正予算（第1～3号）の地方負担額を基礎として算定した額を交付限度額とした臨時交付金
期間	令和2年4月から令和2年11月までの国庫補助金等
対象	充当する事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等に特に必要と認められるもの
交付日	令和3年3月31日 (通常分交付金の第三次配布分にて交付)

・交付金充当事業

事業名	事業費	充当額
プレミアム付商品券発行事業	604,000 千円	72,671 千円

□ 令和3年度交付実績 ※国から提示された交付限度額に基づき交付申請

【通常分交付金 交付限度額 291,464 千円】

・内容

概要	6.8兆円の増額が計上された令和3年度補正予算が成立し、12月27日付けで神奈川県経由で国から交付限度額が示された臨時交付金
対象	充当する事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等に特に必要と認められるもの
内訳	・感染症対応分 交付限度額 144,574千円 ・地域経済対応分 交付限度額 146,890千円
交付日	令和4年3月31日

・交付金充当事業

	事業名	事業費	充当額
1	防災対策事業費	43,000 千円	30,000 千円
2	I C T教育推進事業費	47,881 千円	30,000 千円
3	50周年記念プレミアム付商品券発行事業	947,229 千円	226,854 千円
	合計	1,038,110 千円	286,854 千円

【補助裏分 交付限度額 52,807 千円（①14,207 千円＋②38,600 千円）】

※国庫補助事業等の地方負担額を基礎として算定した額

・内容

概 要	国庫補助事業等（令和3年1月以降に交付決定等される令和2年度第1次補正分、第2次補正分、第3次補正分及び予備費分）の地方負担額を基礎として算定した額を交付限度額とした臨時交付金
期 間	① 令和3年1月から令和3年3月までの国庫補助金等 ② 令和3年4月1日から令和3年12月までの国庫補助金等
対 象	充当する事業は、感染拡大の影響を受けている事業者に対する支援又は事業者若しくは地方公共団体が実施する感染症対策の強化に関連する地方単独事業が対象
交 付 日	① 令和3年11月5日 ② 令和4年3月31日

・交付金充当事業

①

	事業名	事業費	充当額
1	50周年記念プレミアム付商品券発行事業	14,207 千円	14,207 千円

②

	事業名	事業費	充当額
1	保健衛生団体等助成事業費	28,890 千円	28,890 千円
2	コミュニティバス運行事業費	4,504 千円	4,504 千円
	合計	33,394 千円	33,394 千円

【事業者支援交付金 交付限度額 66,226 千円】

・内容

概 要	令和3年4月30日付けで閣議決定された令和3年度一般会計新型コロナウイルス感染症対策予備費5,000億円のうち、留保している2,000億円及び令和2年度補正予算で令和3年度へ繰越したもののうち1,000億円の総額3,000億円について都道府県及び市町村へ交付することと令和3年8月20日付けで示された臨時交付金
対 象	充当する事業は、感染拡大の影響を受けている事業者に対する支援又は事業者若しくは地方公共団体が実施する感染症対策の強化に関連する地方単独事業が対象
交 付 日	令和3年11月5日

・ 交付金充当事業

	事業名	事業費	充当額
1	工業振興対策事業費（当初）	7,600 千円	7,600 千円
2	中小企業安定対策事業費（当初）	34,891 千円	34,891 千円
3	民間保育所運営費等補助事業費（6号）	28,530 千円	28,530 千円
4	シルバー人材センター助成事業費（6号）	2,000 千円	2,000 千円
5	障がい者団体等活動支援事業費（6号）	1,426 千円	1,426 千円
6	工業振興対策事業費（6号）	1,596 千円	1,596 千円
合計		76,043 千円	76,043 千円

□ 令和4年度交付実績 ※国から提示された交付限度額に基づき交付申請

・ 対象

充当する事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等に特に必要と認められるものを対象としました。

【通常分交付金 交付限度額 172,358 千円】

・ 概要

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等を通じた地方創生に資する事業に活用することが可能な交付金。

【原油価格・物価高騰対応分交付金 交付限度額 234,602 千円】

・ 概要

地方公共団体が、コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担の軽減を、地域の実情に応じ、きめ細やかに実施できるように、予算額1兆円を確保して創設されました。

【電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金

交付限度額 210,483 千円】

・ 概要

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施する地方公共団体の取組に、より重点的・効果的に活用される仕組みへと見直しを図りつつ、対策を一層強化するために、予算額6,000億円を確保して創設されました。

- ・ 交付金交付日

①令和4年10月27日 ②令和5年1月31日 ③令和5年3月31日

- ・ 交付金充当事業

	事業名	事業費	充当額
1	プレミアム付商品券発行事業費	429,381 千円	300,487 千円
	合計	429,381 千円	300,487 千円

※交付限度額 617,443 千円のうち 316,956 千円は、翌年度に繰り越し

イ 補正予算【財務部企画財政課】

新型コロナウイルス感染症の影響が令和2年3月から大きくなってきたことにより、令和2年度、令和3年度及び令和4年度にそれぞれ15回の補正予算を実施しました。

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が五類となったことから、新型コロナウイルス感染症関連予算については縮小傾向となりました。

主な新型コロナウイルス感染症関連の予算の概要

◎令和元年度

(千円)

8号補正	議決日 令和2年 3月27日	78,145
◇特別開所に伴う学童保育に対する補助の拡充		37,772
◇保育園・ファミリーサポート事業の拡充		109
◇公共施設等の一部休館に伴う指定管理料の増額		19,830
◇感染症予防物品の購入		434
◇予備費の増額		20,000

◎令和2年度

(千円)

1号補正	議決日 令和2年 4月10日	29,048
◇感染予防マスク等の購入		9,485
◇次亜塩素酸水の無償配布等に使用する消耗品		999
◇特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後デイサービス事業の拡充		5,440
◇中小企業信用保証料補助金の拡充		11,000
◇市内小中学校の臨時休業に伴う学校給食費の保護者への還付金		324
◇市内小学校の臨時休業による家庭学習の環境整備		1,800

2号補正	専決日 令和2年 5月 1日	14,030,758
◇PCR検査実施の準備(コールセンター設置等)		2,379
◇ファミリーサポート事業の充実		640
◇生活困窮者に対する住宅確保対策の拡充		13,203
◇妊婦に対するマスク配布の実施		276
◇感染者搬送用備品等の購入		3,619
◇学校給食のキャンセルに伴う補償金		1,813
◇小中学校に非接触型体温計の配備		137
◇子育て世帯への臨時特別給付金の給付		176,216
◇特別定額給付金給付事業の実施		13,684,902
◇臨時休校に関する学童保育の拡充		145,311
◇予備費の増額		2,262

3号補正	議決日 令和2年 5月11日	372,257
◇保育園の保育料の減免等にかかる費用の増額		1,401
◇福祉的就労事業所に通所する障がい者への工賃補助		6,185
◇中小企業及び個人事業主への支援		360,000
◇魅力ある店舗づくり事業の拡充		3,000
◇臨時休校に関する学童保育の給食提供補助		1,671

4号補正	議決日 令和2年 6月19日	10,257
◇感染症対策消毒用の次亜塩素酸水生成器を各小中学校に設置		10,257

5号補正	議決日 令和2年 6月19日	524,224
◇体温検知カメラシステムの購入		1,584
◇避難所等の感染症予防対策に使用する消耗品		6,100
◇PCR関係者への医師会補填		1,930
◇生活困窮者に対する住宅確保対策の拡充		32,987
◇民間・公立保育園消耗品補助の実施		11,677
◇ひとり親世帯への臨時特別給付金の給付		108,863
◇子育て支援事業費の拡充		476
◇乳幼児健康診査の拡充		4,479
◇妊婦への支援給付金の給付		44,000
◇中小企業等事業継続支援事業の対象業種を拡充		300,000
◇小中学校の感染症予防対策に使用する消耗品		8,238
◇中学校給食推進事業費の拡充		3,890

◎令和2年度

(千円)

6号補正	議決日 令和2年 7月 1日	1,498,458
◇サテライトオフィス整備のための市業務用LAN環境の整備		1,782
◇新型コロナウイルス感染症対策避難所用間仕切りテントの導入		458
◇喜寿を迎えた高齢者への理美容業に使用できる助成券の配付		4,462
◇魅力ある店舗づくり事業(商店リフォーム助成)の拡充		5,000
◇地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の発行		1,465,000
◇住宅リフォーム助成の拡充		10,000
◇高校生への奨学金の拡充<緊急総合パッケージ>		4,560
◇スクールライフ・サポートの実施<緊急総合パッケージ>		7,196
7号補正	議決日 令和2年 8月 5日	555,957
◇消毒用アルコールの購入		1,240
◇体温検知カメラシステムの設置		2,112
◇PCR関係者補填		1,520
◇生活困窮者に対する住宅確保対策の拡充		16,350
◇保育所等が感染症予防対策に使用する物品への補助等		43,500
◇地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の発行額の増額		364,000
◇バス路線の維持に向けた補助の充実		1,080
◇小中学校の感染症予防対策に使用する物品購入		17,835
◇歯科検診滅菌		270
◇「GIGAスクール構想の実現」に向けた1人1台タブレット等の配備		80,550
◇学童保育クラブが感染症予防対策に使用する物品への補助		27,500
8号補正	議決日 令和2年 9月30日	7,466
◇夏季の日数増に伴う学校給食調理業務委託の増額		7,466
9号補正	議決日 令和2年 9月30日	66,164
◇インフルエンザ予防接種無償化による医療の充実		66,164
10号補正	議決日 令和2年11月13日	6,058
◇GIGAスクール構想の実現のためのタブレット等の拡充		6,058
11号補正	議決日 令和2年12月16日	△ 131,072
◇小中学校燃料・電気水道料・電話のコロナによる増額		15,901
◇学校安全管理対策の会計年度任用職員報酬の増額		1,812
◇特別支援教育充実事業費の会計年度任用職員報酬の増額		7,607
◇衆議院議員総選挙経費の感染症予防物品購入		1,628
◇中小企業等事業継続支援事業の減額		△ 158,020
12号補正	議決日 令和2年12月16日	165,800
◇ひとり親世帯への臨時特別給付金の再支給		57,800
◇新型コロナウイルスワクチン接種に向けた業務体制の整備		108,000
13号補正	議決日 令和3年 2月 3日	2,300,040
◇救急隊等に対する特殊勤務手当(防疫手当)		1,356
◇市内公共施設等の感染症予防対策に使用する物品購入		6,818
◇新型コロナウイルスワクチン接種に向けた業務体制の整備		40,903
◇生活困窮者に対する自立相談支援の充実		2,210
◇子どもたちの学習・生活支援業務の感染症予防対策に使用する物品購入等		4,715
◇地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の発行		2,215,128
◇小中学校感染対策用消耗品の購入		26,772
◇小学校健康管理用感染対策用消耗品の購入		1,228
◇成人式延期に伴う事業費の増額		910

◎令和2年度

(千円)

14号補正	議決日 令和3年 3月26日	22,723
◇文化会館指定管理料補填		9,900
◇コミュニティバス運行補填		12,823
15号補正	議決日 令和3年 3月26日	329,215
◇新型コロナウイルスワクチン接種に向けた業務体制の整備		134,215
◇地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の発行		195,000

◎令和3年度

(千円)

当初予算	議決日 令和3年 3月26日	208,000
◇新型コロナウイルスワクチン接種業務体制の確保		208,000
1号補正	議決日 令和3年 4月22日	397,705
◇新型コロナウイルスワクチン接種の実施		329,372
◇子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）の給付		68,333
2号補正	専決日 令和3年 5月18日	155,950
◇子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）の給付		131,750
◇新型コロナウイルスワクチン接種会場等への来場支援		24,200
3号補正	議決日 令和3年 6月18日	15,421
◇小中学生の修学旅行費への補助の拡充		11,685
◇学童保育施設の感染症対策に係るICT補助		3,736
4号補正	議決日 令和3年 6月18日	51,745
◇新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付		41,745
◇住宅リフォーム助成の件数拡大		10,000
5号補正	議決日 令和3年 7月 9日	90,774
◇新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への移動支援等		90,774
6号補正	議決日 令和3年 9月15日	920,955
◇窓口におけるキャッシュレス決済の導入		5,640
◇地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の追加発行		862,506
◇民間保育所運営費等補助		28,683
◇民間保育所感染症対策物品購入		2,500
◇シルバー人材センター助成		2,000
◇障がい者団体等活動支援		1,426
◇農業振興助成の拡充		8,300
◇工業振興対策の拡充		7,400
◇三世代リフォーム件数拡大		2,500
7号補正	議決日 令和3年 9月30日	382,236
◇新型コロナウイルスワクチン接種の実施		365,613
◇住宅リフォーム助成の件数拡大		10,000
◇魅力ある店舗づくりの件数拡大		5,000
◇感染者の救急搬送の増加に伴う感染症予防対策の充実		1,623
8号補正	議決日 令和3年11月12日	133,071
◇地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の追加発行		128,650
◇抗原検査キットの配布（介護施設・障がい福祉施設）		2,421
◇アレルギー等でワクチン接種できない方へのPCR検査の補助		2,000
9号補正	議決日 令和3年12月 1日	860,513
◇0歳から高校3年生までの給付金事業（子育て世帯への臨時特別給付）		860,513

◎令和3年度

(千円)

10号補正	議決日 令和3年12月17日	5,341
◇小中学校感染症予防物品購入		3,571
◇消防搬送用感染防止担架等購入		1,770
11号補正	議決日 令和3年12月17日	1,931,036
◇子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費（高校生・公務員）		1,251,445
◇新型コロナウイルスワクチン接種体制確保		679,591
12号補正	議決日 令和3年12月27日	1,574,760
◇住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金		1,574,760
13号補正	議決日 令和4年1月17日	133,675
◇感染防止用備品（避難所テント、2間3間テント、メガホン）		43,000
◇小中学校感染症対策消耗品及び備品		30,410
◇小中学校健康管理用感染症対策消耗品		640
◇ICT教育用タブレット等のオンライン教育推進機器の充実		59,625
14号補正	議決日 令和4年3月28日	164,516
◇PCR検査等を実施する医療関係団体への事業運営費の補助		30,000
◇新型コロナウイルスワクチン個別接種の促進		36,116
◇オフィスビル等入居への補助		90,000
◇コミュニティバス運行事業に対する支援		8,400

◎令和4年度

(千円)

当初予算	議決日 令和4年3月28日	99,082
◇新型コロナウイルス感染症に係るコールセンターの設置		366
◇新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付		8,431
◇公立保育園の感染症対策物品購入		4,050
◇公立保育園の感染症対策等の施設改修		3,603
◇民間保育園の感染症対策等の施設改修		39,232
◇学童保育クラブの感染症対策の施設改修		43,400
1号補正	議決日 令和4年3月28日	521,500
◇住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の実施		521,500
2号補正	専決日 令和4年5月10日	75,075
◇自治会活動の再開を支援する感染対策用物品の購入		3,600
◇PCR検査等を実施する医療関係団体への事業運営費の補助		60,000
◇小中学校の修学旅行における感染防止対策への補助		11,475
3号補正	議決日 令和4年5月10日	73,697
◇子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）の給付		73,697

◎令和4年度

(千円)

6号補正	議決日 令和4年 7月 8日	1,167,128
◇新型コロナウイルスワクチン接種等の実施		553,937
◇保健師用被服購入		872
◇社会福祉協議会が実施する生活福祉資金の特例貸付事業への補助		39,000
◇新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付		12,435
◇子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）の給付		80,760
◇商店街応援補助金の件数拡大		800
◇店舗リフォーム助成の補助上限拡大		1,200
◇生活支援及び地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の発行		429,381
◇経費高騰に伴う農業事業者への補助		5,056
◇畜産事業者に対する飼料代補助		1,094
◇路線バス運行対策支援事業補助		1,703
◇住宅リフォーム助成の件数拡大		10,000
◇食材費高騰に伴う学校給食費賄材料費用の増額		30,000
◇家計急変世帯へのスクールライフサポート		890
7号補正	議決日 令和4年 9月16日	49,924
◇インフルエンザ予防接種無償化による医療の充実		49,924
8号補正	議決日 令和4年 9月30日	609,895
◇新型コロナウイルスワクチン接種等の実施		523,657
◇PCR検査等を実施する医療関係団体への事業運営費の補助		60,000
◇私立保育園の給食材料費補助		9,917
◇公立保育園の給食材料費補助		2,847
◇私立幼稚園の給食材料費補助		5,874
◇中古住宅取得支援の件数拡大		7,600
9号補正	議決日 令和4年 9月30日	664,327
◇住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付		653,991
◇新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付		10,336
11号補正	議決日 令和4年12月16日	22,731
◇民間保育所の電気代補助		4,750
◇幼稚園の電気代補助		400
◇路線バス運行対策支援事業補助		691
◇住宅リフォーム事業の助成件数拡大		3,500
◇感染防止衣の購入		12,730
◇感染症廃棄物処理費の増額		660
13号補正	議決日 令和5年 1月19日	1,564,184
◇感染症予防対策を実施する保育所等への事業運営費の補助		1,000
◇生活支援及び地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の発行		1,558,354
◇小中学校の感染症予防対策に使用する物品購入		4,830

◎令和5年度

(千円)

当初予算	議決日 令和5年 3月29日	4,216
◇新型コロナウイルス感染症に係るコールセンターの設置		510
◇小中学校における新型コロナウイルス感染症対応による電話料の増額		3,706
1号補正	議決日 令和5年 3月29日	623,643
◇新型コロナウイルスワクチン接種等の実施		583,493
◇農業事業者に対する肥料代の補助		10,000
◇小中学校における感染予防のための換気対策の整備		15,075
◇小中学校の感染者等発生対応・臨時休業による家庭学習の環境整備に係る支援		15,075
2号補正	議決日 令和5年 4月20日	1,397,705
◇低所得者世帯に対する生活支援商品券の発行		387,513
◇低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金の給付		133,604
◇生活支援及び地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の発行		876,588
3号補正	議決日 令和5年 6月16日	73,300
◇抗原検査キットの購入		3,300
◇ワクチンの個別接種を実施する医療関係団体への事業運営費の補助		60,000
◇予防接種健康被害救済制度に係る給付		10,000
6号補正	議決日 令和5年 9月19日	37,706
◇インフルエンザ予防接種無償化による医療の充実		37,706
7号補正	議決日 令和5年 9月29日	147,100
◇生活支援及び地域経済の活性化に資するプレミアム付商品券の発行		147,100

(3) 経済対策

ア 特別定額給付金【財務部企画財政課】

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）に基づき、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、特別定額給付金を支給しました。

□ 事業概要

給付対象者	令和2年4月27日現在において住民基本台帳に記録されている者
受給権者	原則、給付対象者の属する世帯の世帯主
給付額	100,000円（1人あたり）
対象人数	135,730人
対象世帯数	61,012世帯
申請受付	「郵送申請」又は「オンライン申請」

□ 実績（令和3年12月31日現在）

◇実施期間	
・申請受付期間	令和2年5月21日から令和2年8月21日まで ※マイナポータル申請は令和2年5月7日から令和2年8月21日まで
・給付期間	令和2年5月19日から令和3年1月20日まで
◇支給状況	
・支給総額	13,545,200千円（国費10/10：補助特別定額給付金事業費補助金）
・支給人数	135,452人（支給率 99.8%）
・支給世帯数	60,790世帯（支給率 99.6%）

□ 実施体制

国の要請を受け、可能な限り早期に給付金を支給すべく、全庁体制により特別定額給付金チームを設置しました。統括責任者に財務部次長、副統括責任者に市民協働部次長、事務局は財務部企画財政課とし、メンバーは財務部・市民協働部を中心に17人体制としました。また、事業の進捗状況により在宅勤務職員を動員して対応しました。



※動員対応業務：オンライン申請受付処理・郵送申請受付データ照合

イ 海老名市福祉的就労施設通所者工賃助成【保健福祉部障がい福祉課】

福祉的就労施設に通所する障がい者を対象に、新型コロナウイルス感染症の影響によって減額した工賃について、障がい者の経済的自立の維持を目的に、その一部を助成しました。

□ 事業概要

対 象 者	海老名市に住民票を有し、海老名市の障がい福祉サービスの支給決定を受けている福祉的就労施設通所者
対 象 施 設	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所 ・就労移行支援事業所 ・就労継続支援A型事業所 ・就労継続支援B型事業所
対象となる事由	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の活動自粛により、施設の利用ができなくなったため ・事業所の活動縮小により、施設の利用が減少したため ・持病等の理由から感染防止のため、施設の利用を自粛したため ・自身に発熱等の体調不良があり、施設の利用を自粛したため ・事業所の活動縮小により、工賃の基準額が低下したため
助成対象期間	令和2年4月7日から令和2年5月25日まで
補 助 額	令和元年12月から令和2年2月までの平均工賃と対象期間の平均工賃の差額及び自粛等で通所しなかった日の工賃の8割

□ 実績（令和3年12月31日現在）

申請者数220名 助成額106,760円

ウ 海老名市妊婦支援給付金支給事業【保健福祉部こども育成課】

「妊婦支援給付金事業」として、新型コロナウイルス感染症に対するリスク軽減を目的に、妊婦一人当たり5万円の給付を行いました。

□ 事業概要

対 象 者	<ul style="list-style-type: none"> ・申請日の時点で妊娠届出書を提出している人（母子手帳交付済みの人） ・支給対象期間中に妊娠していることが確認できる人 ・支給対象期間中から給付金の申請日まで、引き続いて本市の住民基本台帳に登録されており、実際に本市に居住している人
支給対象期間	令和2年4月28日から令和2年6月30日まで

□ 実績（令和3年12月31日現在）

- ・実施件数 861件
- ・助成額 43,050,000円

エ 中小企業に向けた信用保証料補助金の引き上げ（緊急経済対策第1弾）

【経済環境部商工課】

新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けている中小企業を支援するため、海老名市中小企業信用保証料補助要綱を一部改正し、神奈川県信用保証協会の保証を受け、市融資要綱に規定する景気対策特別資金の融資を受けた中小企業者の補助上限額を10万円から50万円に引き上げました。

□ 実績（緊急経済対策第1弾）（令和3年12月31日現在）

実 施 期 間	令和2年3月2日から令和3年3月31日まで
補助金引き上げ期間内に融資を受け、補助金を交付した事業者	11事業所

※なお、緊急経済対策第2弾として、融資要綱の一部を改正し、返済猶予（据置期間の設定・延長）を実施しています。

オ 海老名市中小企業等事業継続支援金の創設（緊急経済対策第2弾）

【経済環境部商工課】

外出自粛や休業要請により、事業活動に影響を受けている中小企業及び個人事業主を支援するため、中小企業等事業継続支援金を交付しました。

□ 事業概要

要 件	令和2年3月又は4月の売り上げが前年同月と比べて20%以上減少している中小企業及び個人事業主
上 限 額	1事業所あたり30万円
対象業種	小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス、娯楽業
申請期間	6月末まで

※なお、緊急経済対策第3弾として、8月末までの期間延長と、対象業種拡大（全業種）を実施しています。

□ 実績（緊急経済対策第2弾）（令和3年12月31日現在）

①	実施期間	令和2年5月11日から令和2年6月18日まで ※飲食、宿泊、小売、生活関連サービス、娯楽
	申請件数	500件
	交付額	143,982,000円
②	実施期間	令和2年6月19日から令和2年8月31日まで 全業種
	申請件数	1,239件
	交付額	357,998,000円
計	申請件数	1,739件
	交付額	501,980,000円

カ 海老名商工会議所との合同相談の設置（緊急経済対策第2弾）

【経済環境部商工課】

国・県・市の経済対策及び支援策に対し、市内中小企業及び個人事業主が申請等を円滑に行えるよう、市及び海老名商工会議所が合同で事前予約制の相談窓口を設置しました。

□ 事業概要

対 象	市内中小企業及び個人事業主（商工会議所非会員を含む。）
場 所	海老名商工会議所 3階ホール
期 間	令和2年5月7日～ 週3回程度

□ 実績（令和3年12月31日現在）

- ・実施期間：令和2年5月7日から同年6月末まで（以後随時対応）
- ・件 数：57件

キ がんばる商店街応援事業補助金の申請回数引き上げ 【経済環境部商工課】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、物価高騰により消費の冷え込みが著しい商店街を支援するため、商店街が実施するイベント等への補助金申請回数を1団体につき同一年度1回のみから2回まで可能としました。大規模な集客イベントの開催が困難な中、小規模なイベントを複数回実施することで商店街及び地域商業の活性化を図りました。

□ 実績（令和5年5月19日現在）

- ・実施期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
令和4年度：8団体9件 1,327,000円
(※1団体が2回活用)

ク 魅力ある店舗づくり支援事業補助金の引き上げ 【経済環境部商工課】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、燃料費高騰や原材料不足による工事費用への影響を受け厳しい状況が続いている市内事業者を支援するため、店舗の改修等に要する費用への補助上限額を50万円から70万円に引き上げました。

□ 実績（令和5年5月19日現在）

- ・実施期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
既存店舗及び空き店舗改装改修助成 6件 3,008,000円
(内、4件に対し上限70万円を助成)

ケ 元気いっぱい!!えび～にゃ商品券発行（緊急経済対策第4弾）

【経済環境部商工課】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い影響を受けている市民の生活を支援するとともに、消費を喚起し、地域経済の活性化を図ることを目的に、市内でのみ使用可能なプレミアム付商品券を発行しました。

□ 事業概要

発行総額	14億円	
販売価格	3,500円／1冊（額面金額5,000円／1冊） プレミアム率42.9%	
1冊の構成	1冊16枚つづり 【内訳】共通券 500円×6枚＝3,000円 個店限定券200円×10枚＝2,000円	
販売数	28万冊	
購入対象者	市内在住者	
購入上限	1人あたり10冊	
使用期間	令和2年8月25日から令和3年2月28日まで	

□ 実績（令和3年12月31日現在）

- ・販売冊数：35万冊
- ・販売総額：17億5千万円

※なお、緊急経済対策第5弾として、7万冊（3億5千万円）を増刷しています。

コ 市制施行50周年！元気いっぱい!!えび～にゃ商品券発行

（緊急経済対策第6弾）

【経済環境部商工課】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民の生活支援と地域経済の活性化を図るとともに、市制施行50周年の機運を高めるため、プレミアム付商品券を発行しました。また、飲食店をはじめ経営が苦しい様々な業種の個店に対する支援となるよう共通券と個店限定券を分けて販売するとともに、個店限定券には海老名市初のプレミアム率100%を付与しました。

□ 事業概要

発行総額		32億400万円 共通券20億8,500万円＋個店限定券11億1,900万円
発行冊数		79万冊 共通券41万7,000冊＋個店限定券37万3,000冊
個店 限定券	販売価格	1,500円／1冊（額面金額3,000円／1冊） プレミアム率100%
	1冊の構成	200円券×15枚つづり
共通券	販売価格	4,000円／1冊（額面金額5,000円／1冊） プレミアム率25%
購入対象者		市内在住者
購入上限		第1弾：一人あたり各券5冊 第2弾：一人あたり各券2冊
使用期間		令和3年4月26日から令和4年2月28日まで

□ 実績（令和3年12月31日現在）

販売期間	令和3年4月26日から令和3年5月9日まで（50万冊） ※増刷6万冊
	令和3年12月1日から令和3年12月14日まで ※増刷23万冊
販売冊数	79万冊
販売総額	32億400万円
その他	緊急経済対策第7弾として、個店限定券6万冊（1億8千万円）を増刷、緊急経済対策第8弾として、合計20万冊（個店限定券10万冊＋共通券10万冊）（8億円）を増刷し、使用期限を令和4年2月28日まで延長、緊急経済対策第9弾として、合計3万冊（個店限定券1万3千冊＋共通券1万7千冊）（1億2千4百万円）を増刷しています。

サ 元気いっぱい !!えび～にゃ商品券を発行【令和4年度】

【経済環境部商工課】

コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けている市民生活の支援及び消費喚起による地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行しました。また、デジタル化を推進するため、紙商品券に加え、電子商品券も導入し、非接触型のキャッシュレス決済による新しい生活様式の普及・促進と市民ニーズに応じた利便性の高い商品券事業を実施しました。

□ 事業概要

発行総額	9億3,200万円(紙6億4,800万円 電子：2億8,400万円) 共通券6億500万円+個店限定券3億2,700万円	
発行総数	紙：16万冊(共通券8万4千冊+個店限定券7万6千冊) 電子：7万セット(共通券3万7千セット+個店限定券3万3千セット)	
個店限定券	販売価格	1,500円/1冊(額面金額3,000円/1冊) プレミアム率100%
	1冊の構成	200円券×15枚つづり
共通券	販売価格	4,000円/1冊(額面金額5,000円/1冊) プレミアム率25%
	1冊の構成	500円券×10枚つづり
購入対象者	市内在住者	
購入上限	1人あたり合計4冊(各券2冊)まで	
使用期間	令和4年11月15日から令和5年3月15日まで	

□ 実績(令和5年5月19日現在)

販売期間	令和4年11月15日から令和5年3月15日まで	
販売数	紙商品券	：18万8,400冊
	電子商品券	：2万7,000セット
販売総額	紙商品券	：7億5,650万円
	電子商品券	：9,500万円

シ 第6弾・元気いっぱい!!えび～にゃ商品券を発行【令和5年度】

【経済環境部商工課】

依然として続く原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けている市民生活の支援及び消費喚起による地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行しました。(紙のみ)

□ 事業概要

発行総額	14億3,200万円 共通券9億1,000万円+個店限定券5億2,200万円	
発行冊数	35.6万冊 共通券18.2万冊+個店限定券17.4万冊	
個店限定券	販売価格	1,500円/1冊(額面金額3,000円/1冊) プレミアム率100%
	1冊の構成	200円券×15枚つづり
共通券	販売価格	4,000円/1冊(額面金額5,000円/1冊) プレミアム率25%
購入対象者	市内在住者	
購入上限	1人あたり合計6冊(各券3冊)まで	
使用期間	令和5年4月10日から令和5年11月1日まで ※令和6年2月29日まで延長	

□ 実績(令和6年9月30日現在)

販売期間	令和5年4月10日から令和5年4月19日まで	
販売数	34万5,757冊	
販売総額	9億5,984万円	

ス 第7弾・元気いっぱい !!えび〜にゃ商品券を発行【令和5年度】

【経済環境部商工課】

依然として続いている原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けている市民生活の支援及び消費喚起による地域経済の活性化を図るため、現在実施している第6弾商品券事業が終了予定であったタイミングに合わせ11月から使用できるプレミアム付商品券を発行しました。（紙のみ）

□ 事業概要

発行総額	9億4,500万円	
発行総数	共通券6億円+個店限定券3億4,500万円	
個店限定券	販売価格	1,500円/1冊（額面金額3,000円/1冊） プレミアム率100%
	1冊の構成	200円券×15枚つづり
共通券	販売価格	4,000円/1冊（額面金額5,000円/1冊） プレミアム率25%
	1冊の構成	500円券×10枚つづり
購入対象者	市内在住者	
購入上限	1人あたり合計4冊（各券2冊）まで	
使用期間	令和5年11月1日から令和6年2月29日まで	

□ 実績（令和6年9月30日現在）

販売期間	令和5年11月1日から令和5年11月7日まで
販売数	227,857冊（共通券116,298冊+個店限定券111,559冊）
販売総額	6億3,253万円

セ 路線バス運行対策支援事業【まちづくり部都市計画課】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組むバス事業者を支援するとともに、市民が安心して路線バスを利用できるよう新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するための物品購入及び作業を行う事業に対し、補助金を交付しました。これにより、バス運行時の乗務員のマスク着用及び車内消毒を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じることができました。

□ 事業概要

補助対象事業者	市内を運行するバス事業者
補助対象経費	新型コロナウイルス感染症感染拡大の防止に資する衛生対策として購入する物品（マスク、消毒液等）及び平常時に加えて行う車両の消毒作業等
補助額	1系統あたり40,000円（上限）
その他	令和2年9月9日から補助要綱を施行（令和2年4月1日から適用）し、令和2年度末までの時限としました。

□ 実績（令和3年12月31日現在）

- ・ 補助対象事業者 2事業者
- ・ 補助額 40,000円×27系統＝1,080,000円

ソ 市営住宅入居者の新型コロナウイルス感染症による減収に伴う家賃減免措置

【まちづくり部住宅まちづくり課】

市営住宅入居者より、新型コロナウイルス感染症により収入が減ったことから、家賃の支払いについての相談を受け、「海老名市市営住宅条例施行規則」及び「海老名市市営住宅の家賃等の減免又は徴収猶予基準」に基づき、書類審査及び実態調査を行い、家賃の減免措置を行いました。

□ 実績（令和5年3月31日現在）

- ・ 家賃減免措置件数：1件
- ・ 減免率：全額免除
- ・ 減免期間：令和3年7月1日から令和3年9月30日まで（3か月間）

(4) 感染症対策

ア 新型コロナウイルス感染症コールセンター【保健福祉部健康推進課】

令和2年4月30日から新型コロナウイルス感染症に関連する相談や感冒症状のある方への医療機関の情報提供及びケア等の相談を健康推進課保健師により実施しています。



□ 実績（令和5年4月28日終了）

	一般相談	保健師相談
令和2年度	1,225件	2,578件
令和3年度	2,070件	3,407件
令和4年度	2,189件	4,407件
令和5年度	36件	32件

イ 保健衛生団体等助成事業【保健福祉部健康推進課】

○発熱者外来案内業務

海老名市医師会により、発熱等の症状のある患者に特化して診察していただける診療所を設置しました。市では、患者誘導等の人的支援等を行いました。

□ 実績（令和3年12月31日現在）

支援期間 令和2年5月1日から令和2年5月30日まで

○PCR集合検査（ドライブスルー方式）

海老名市医師会により、感染疑いのある方のPCR検査をドライブスルー方式で実施しました。市では、検査予約の受付、会場設営、車両誘導等の人的支援や物的支援等を行いました。また、海老名駅



周辺の3診療所に受診できる方は、当該診療所との連携により唾液検査を実施しました。なお、第5回新型コロナウイルス感染症対策本部会議（令和2年4月22日）において、発熱者外来案内業務及びPCR集合検査については、全庁動員により実施することを決定しました。

また、検査場を利用される方が「自家用車がない」又は「送迎してもらえない家族がいない」等、検査場へ来る手段がない市民等を対象に送迎を行いました。この送迎は、送迎中に受検者が体調不良を起こした場合に備え、消防本部の救急救命士と救急隊員の有資格者、及び健康推進課の保健師が2人1組となり実施しました。

□ 実績（令和3年12月31日現在）

場 所	海老名運動公園内陸上競技場
期 間	令和2年5月2日から令和3年2月28日まで ※木・土に実施。ただし休日を除く。
受 検 人 数	1,121人（うち、送迎61人）
送 迎 件 数	57件
送 迎 動 員 職 員	消防職員94人、保健師20人 ※延べ人数

○発熱外来等診療に伴う補助金

市民の医療の安心安全を図るため、海老名市医療関係団体事業運営費補助金交付要綱に基づき、医師会に対して補助金を交付し地域医療等の支援を行いました。

□ 実績（令和3年12月31日現在）

補助金額 3,450,000円（令和2年6月及び9月補正で増額申請）

ウ 海老名市新型コロナウイルス感染症PCR検査等補助金交付

【保健福祉部健康推進課】

ワクチン接種率の向上や感染防止対策の推進と併せ、社会経済活動の正常化に向け、「ワクチンパスポートデジタル化」が年内を目途に実現予定である一方、病気などの理由でワクチン接種を受けられない方の代替手段として「PCR検査等の検査結果証明等」の確保が必要と考えられています。これを踏まえ、ワクチン接種を受けられない方の不安解消等を目的として、PCR検査等の費用の補助を行いました。

□ 事業概要

期 間	令和3年12月1日から令和6年3月31日まで
補 助 対 象 者	市税に滞納がない市民で、何らかの理由により新型コロナウイルスワクチンの接種ができない者
補 助 金 等 の 額	・医療機関での検査費用の2分の1とし、PCR検査にあつては20,000円、抗原定量検査にあつては8,000円を限度とする。 ・月に1回まで、年度2回まで（令和3年度は1回まで）

□ 実績

2件

エ 海老名市新型コロナウイルス感染症PCR検査等実施医療機関支援

(医療機関向け)

【保健福祉部健康推進課】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市民の医療の安全安心を図り、医療機関の負担を軽減するため、海老名市医療関係団体事業運営費補助金交付要綱に基づき、医師会に対して補助金を交付しました。

□ 事業概要

期 間	令和4年1月1日から令和4年3月31日まで
補 助 者 対 象	海老名市内医療機関（医師会からの交付対象は、海老名市在住者、在勤者に対して保険適用の新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査を実施した医療機関）
補 助 金 の 額 等	1件あたり5,000円

□ 実績

申込件数 5,778件

オ 高齢者のインフルエンザ予防接種の無償化

【保健福祉部地域包括ケア推進課】

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、更にインフルエンザが流行して重症者が増大することで、医療体制がひっ迫することが危惧される為、自己負担無し（無料）として、高齢者の接種率の向上を促しました。

□ 事業概要

期 間	令和4年10月1日から令和5年1月31日まで 令和5年10月1日から令和6年1月31日まで
補 助 者 対 象	<ul style="list-style-type: none"> 海老名市に住民登録がある、次のいずれかに該当する者 接種当日65歳以上の者（約34,500人） 60歳以上65歳未満でヒト免疫不全・心臓・腎臓・呼吸器の疾患で身体障害者手帳1級に該当する者（約60人）
接 種 場 所	海老名市・座間市・綾瀬市・厚木市等の協力医療機関及び施設
補 助 金 の 額 等	1件あたり5,390円

□ 実績

令和4年度 接種者数 19,842人（接種率：58.0%）

令和5年度 接種者数 19,115人（接種率：55.4%）

(5) 生活支援

ア 海老名市 A I 受診相談システム【保健福祉部健康推進課】

「どの病院を受診すればいいのか分からない」、「感染を恐れて受診を控えてしまう」、「新型コロナウイルス感染症の疑いがあるにも関わらずスクリーニングなしで医療機関を受診してしまう」等の状況があり、A I による受診相談により、医療機関情報やコールセンターを市民に提供し、適切な受診行動を促すことを目的としたもので、インフルエンザシーズンの到来に合わせ、市民向けの A I 受診相談ソフトを周知することで、発熱症状のある市民を適切な受診につなげることができるものです。

スマートフォンなどから所定のページにアクセスし、症状等を選択していくことで A I による問診を行い、スマートフォンの位置情報から、近隣の医療機関情報を提供することができます。また、新型コロナウイルス感染症の症状があると診断された場合は、本市のコールセンターが紹介される構図になっています。

□ 事業概要

期 間	令和 2 年 12 月 9 日から令和 5 年 5 月 7 日まで
利 用 料 金	無料（通信料は利用者負担）
利 用 環 境	Intenet Explorer 以外のブラウザ

□ 実績（令和 3 年 12 月 31 日現在）

利 用 人 数	4,000 回（令和 3 年 1 月 25 日段階）以降 約 1,000 件から 2,000 件/月（コロナ関連は約 100 件/月）程度
---------	---

イ ライフナビえびなの設置【保健福祉部生活支援課】

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した、住居を失うおそれがあるなど、暮らし、すまい・しごとに関する相談を総合的に受け付けるために設置しました。相談により、住居確保給付金・家計改善支援・就労支援や社会福祉協議会の貸付、庁内各課や関係機関につなぐことができました。

相 談 内 容	・暮らしの相談（失業・収入減少等における生活困窮の相談） ・すまいの相談（住居を失った又は失うおそれがある方々に対する支援制度等の相談） ・しごとの相談（就労支援の相談）
設 置 時 期	令和 2 年 6 月 15 日（月）
開 設 時 間	・午前 9 時から午後 5 時まで（日・祝を除く。） ・土曜開庁日午前 9 時から正午まで

□ 実績（令和 3 年 12 月 31 日現在）

相談件数 54 件

ウ 海老名市高齢者理美容助成事業（ことぶき理美容助成事業）

【保健福祉部地域包括ケア推進課】

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、福祉的支援及び経済対策を図ることを目的として、外出を控えていた高齢者（市内在住の77歳の者）に対して、3,000円分（1,000円×3枚）の海老名市ことぶき理美容助成券（愛称：77クーポン）を配布し、助成しました。

□ 事業概要

給付対象者	市の住民基本台帳に記録されている者で、昭和18年4月1日から昭和19年3月31日の間に生まれた者
事業実施期間	令和2年8月～令和3年1月末

□ 実績

対象者数	1,632人
利用者数（実）	589人
利用枚数	1,724枚
助成券使用金額	1,724,000円
登録店舗	98店舗
使用された店舗	83店舗

エ 下水道使用料の支払い猶予【まちづくり部下水道課】

新型コロナウイルス感染症の影響により支払いが困難となった方に、支払いを猶予するものです。

□ 事業概要

対象者	下水道使用料の支払いが困難になった方
期間	令和2年3月25日から令和6年4月30日まで
相談	海老名水道営業所 ※上下水道料金支払い等手続窓口
猶予期間	納入通知書の納付期限又は口座振替日から最長4か月（原則）

□ 実績

相談件数 41件

猶予件数 26件（家事用24件／家事以外2件）

(6) 物的支援

ア 衛生用品の整備【市長室危機管理課】

感染症対策のため、補正予算を計上し、マスクやフェイスシールド、除菌・消毒剤等の衛生用品、非接触型体温計や間仕切りテント、体温検知カメラ等の物品を購入しました。また、市民や公共施設利用者、保育・高齢者施設、医療機関、公共交通機関事業者等における感染症対策のため、衛生用品を配布し、業務継続の観点から、各課等へフェイスシールド及び手指消毒薬等を配布しました。

□ 事業概要

財政措置	・ 1号 (4月)	需用費	8,657千円
	・ 5号 (6月)	需用費	6,100千円
		備品購入費	1,584千円
	・ 6号 (7月)	需用費	458千円
	・ 7号 (8月)	需用費	1,240千円
	・ 13号 (2月)	需用費	2,508千円
		計	20,547千円

□ 実績 (令和3年12月31日現在)

主な購入品目及び数量	・ マスク	約178,000枚 (9,758千円)
	・ フェイスシールド	約5,200枚 (1,791千円)
	・ 防護服	1,200枚 (1,032千円)
	・ 除菌消毒剤等	約5,100個 (本) (3,251千円)
	・ 非接触型体温計	94本 (755千円)
	・ 間仕切りテント	84張 (592千円)
	・ 体温検知カメラ	3台 (1,313千円)

イ マスク全戸配布【市長室危機管理課】

令和2年5月11日、市内企業（株式会社オウルテック）から不織布マスク30万枚の寄附を受け、市内全戸にマスクを1世帯3枚配布しました。



□ 事業概要

予備費充用により実施

- ・ 配布及び封入封緘業務委託 (58,100世帯・174,300枚) 696千円
- ・ 消耗品購入 376千円

ウ 次亜塩素酸水の無償配布【保健福祉部健康推進課】

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、消毒液が不足していることから、希望する市内に在住している方及び市内で事業を営む方を対象に「除菌効果が期待できる次亜塩素酸水」を無償で配布しました。

※1人500mlまで

希望者には継続して配布を行っています。



□ 実績（令和3年12月31日現在）

配布場所	配布機関	配布人数（延べ）
海老名市役所	令和2年4月9日から令和2年6月30日まで	24,255人
柏ヶ谷コミュニティセンター	令和2年4月9日から令和2年6月30日まで	8,271人
有馬図書館	令和2年4月9日から令和2年5月29日まで	5,740人
合計		38,266人

□ 実施体制

第1回新型コロナウイルス感染症対策本部会議（令和2年4月8日）において、全庁動員により実施することを決定しました。



□ 配布時の様子



エ 抗原検査キット配布事業

【保健福祉部障がい福祉課、介護保険課、地域包括ケア推進課】

障がい児・者や高齢者が利用する福祉サービス提供事業所内における感染拡大防止を図るため、「抗原検査キット」を配布することで、体調不良者への検査を行うとともに、医療機関への早期受診を促しました。

□ 配布実績（令和5年5月19日現在）

令和3年12月から配布開始

- ・ 障がいサービス提供事業所 50 事業所
- ・ 地域包括支援センター 7 か所
- ・ 介護サービス提供事業所 154 事業所

オ 公共交通事業者に対するマスクの配布【まちづくり部都市計画課】

公共交通事業者（バス事業者、タクシー事業者）は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による外出自粛により、乗客数が激減し、収益の確保が困難であることに加え、感染症拡大防止のための車両消毒や乗務員のマスク着用等、物品等の経費の負担が生じていることから、公共交通の維持・確保を目的に、バス事業者及びタクシー事業者に不織布マスクの配布を行いました。

□ 配布実績（令和4年3月31日現在）

- ・ 神奈川中央交通株式会社 18,000 枚
- ・ 相鉄バス株式会社 18,000 枚
- ・ 株式会社海老名相中 9,000 枚
- ・ 株式会社ハートフルタクシー 9,000 枚

(7) 人的支援

ア 新型コロナウイルス感染拡大防止業務に係る保健師の派遣

【保健福祉部健康推進課】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、保健師の人手不足が懸念されることから厚木保健福祉事務所（保健予防課）に本市保健師を派遣しました。帰国者・接触者センターの相談業務、感染経路の調査、検体の確認患者搬送、陽性患者の医療機関調整等行いました。

□ 実績

派遣期間	派遣者数
令和2年4月20日から8月31日まで	1名
令和2年9月1日から12月28日まで	1名
令和3年1月4日から3月31日まで	2名（内1名事務員）
令和3年5月1日から8月31日まで	1名
令和3年9月1日から12月28日まで	1名
令和4年1月4日から3月31日まで	2名
令和4年4月1日から5月31日まで	1名
令和4年8月1日から9月30日まで	3名
合計派遣人数	12名（内1名事務員）

イ 救急救命士による新型コロナウイルスワクチン接種【消防本部警防課】

厚生労働省から発出された「新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種の専門性を踏まえた対応の在り方等について」

（令和3年6月4日付け医政発0604第31号厚生労働省医政局長、健発0604第17号厚生労働省健康局長、薬生発0604第6号厚生労働省医薬・生活衛生局長からの通知）において、一定の条件のもとワクチン接種の打ち手となることを認める方針が定められたことを受け、救急救命士によるワクチン接種に関する法整備等がなされた後、即座にワクチン接種の協力ができるよう令和3年6月4日付けで救急救命士向け座学研修及び実技研修の実施を（一社）海老名市医師会に依頼し、座学研修を令和3年6月8日、実技研修を令和3年6月29日及び令和3年7月6日に実施し、受講者に対し修了証を交付しました。



本研修は、「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射の歯科医師による実施について」に示す研修内容の例に基づき実施し、法的に接種体制が構築され、厚生労働省から示される研修内容に不足が生じた場合には、追加で研修を行う予定で先行して行いました。後に示された厚生労働省の定めるWEB研修を追加で受講し、ワクチン接種を担当する保健衛生部局（保健福祉部健康推進課）との併任辞令を42人の救急救命士に交付し、令和3年7月1日より集団接種会場でのワクチン接種を開始しました。この取組について、総務大臣から総務省・消防庁を介し、海老名市消防本部消防長宛てに御礼の電話連絡があり、全国初の取組として先進的な取組事例として扱われました。



また、集団接種会場で急激なアレルギー反応等を発症した市民への応急手当及び救急搬送を必要とする場合の連絡調整を行うため消防職員を派遣し、緊急時の対応を図りました。

なお、令和4年9月30日をもって保健衛生部局（保健福祉部健康推進課）の併任解除となり、集団接種会場でのワクチン接種を終了しました。

□ 救急救命士による市民へのワクチン接種の人数及び従事者数
(集団接種事業終了時点)

○ ワクチン接種の人数

- ・ 集団接種会場 20,894 人
 - ・ 夜間接種会場 1,215 人
 - ・ モスク会場 413 人
- 22,522人

○ 救急救命士 従事者数

延べ387人

イ 広報えびな臨時号

◇令和2年5月号		
内容	「緊急事態宣言」が延長 市長からのことば、PCR集合検査場開設、特別定額給付金支給、中小企業と個人事業主への支援、各種助成金・給付金、臨時休館、イベントの中止、次亜塩素酸水無償配布、市内患者受入施設等	
◇令和3年5月10日号		
内容	新型コロナウイルスワクチン集団接種を開始 ～80歳以上の方の予約受け付け5月17日(月)から～ 集団接種スケジュール、集団接種会場、集団接種の予約方法、個別接種の予約方法、相談窓口等	
◇令和3年5月20日号		
内容	65歳以上の高齢者 約3万5,000人全員分のワクチンが確保されました 集団接種会場へは、コミュニティバス、無料シャトルバスのご利用を 路線バス・コミュニティバス運賃一部補助、無料シャトルバス時刻表、集団接種スケジュール等	
◇令和3年7月7日号		
内容	7月9日から65歳未満の方の予約を順次開始 集団接種は3会場を実施 集団接種会場、高齢者移動支援終了、集団接種予約方法、集団接種予約のスケジュール、個別接種医療機関等	
◇令和4年1月26日号		
内容	3回目の新型コロナウイルスワクチン接種 1月20日に、65歳以上の方などへワクチンの接種券を発送 ワクチンの交接種が可能、集団接種開始日、無料シャトルバス時刻表、ワクチン号、路線バス・コミュニティバス、接種当日の持ち物・注意点、個別接種医療機関等	

(9) 救急活動

ア 医療提供体制「神奈川モデル」への対応【消防本部管理課】

市内の重点医療機関等からの転院搬送要請や自宅療養者からの要請に対応するため、管轄保健所、神奈川県調整本部及び各二次医療機関の協力のもと、確実な搬送体制「事前通報ルール」と、三市消防指令センターを含め、救急業務相互応援協定を結んでいる座間市・綾瀬市消防本部と統一した連絡体制

「C Support 事案」

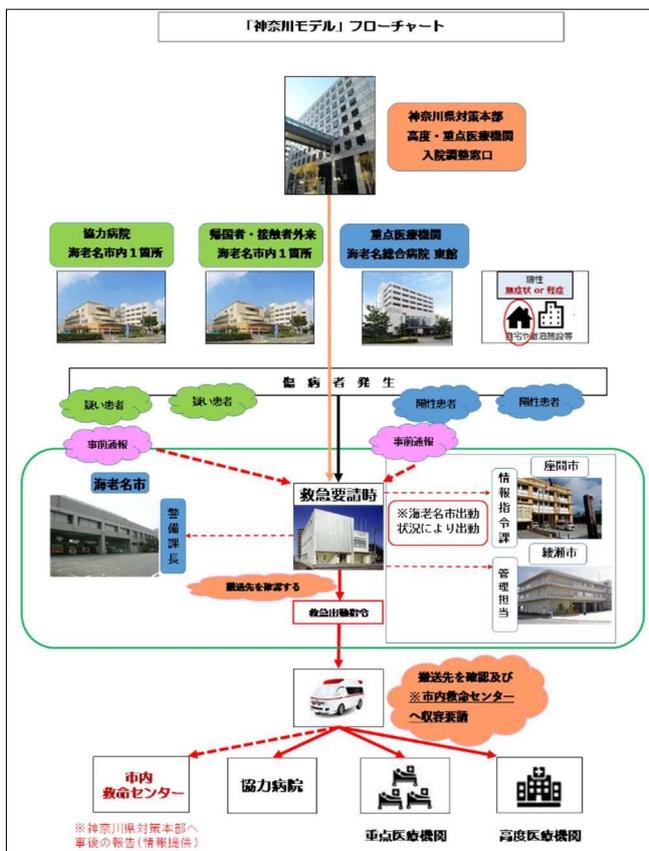
(確実な二次感染防止対策)を

構築し、搬送体制の強化に取り組みました。また、この体制による他事案への影響を及ぼすことがないように努めました。

※令和5年3月17日消防庁救急企画事務連絡「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更」を受け、令和5年5月8日0時より廃止しました。

□ 転院搬送件数（令和5年5月8日現在）

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
13件	90件	94件	3件	200件



新型コロナウイルス感染症に係わる搬送状況

管理課 令和5年5月8日現在

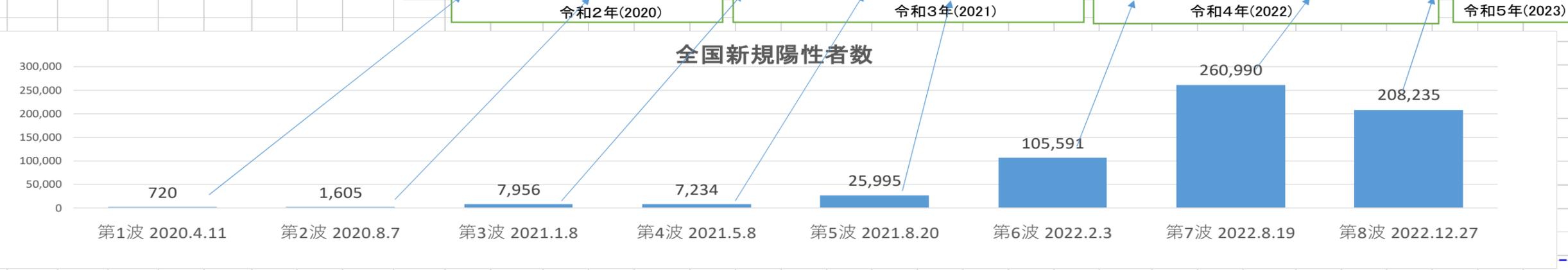
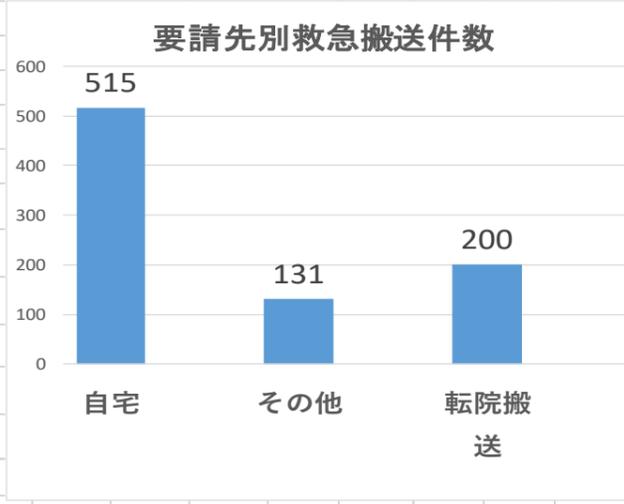
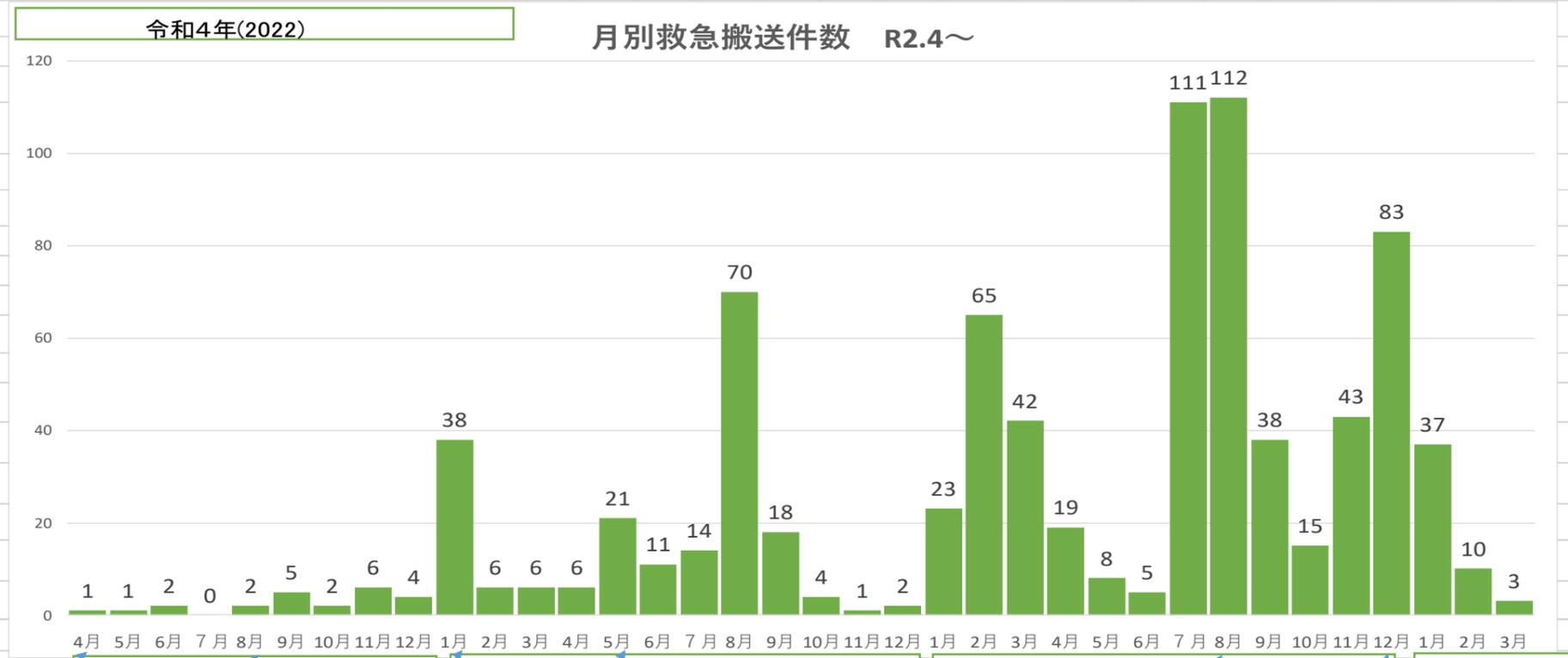
COVID-19陽性者 搬送状況

※確定及び疑い症例(濃厚接触者含まず)

月	令和2年												合計	令和3年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
件数				1	1	2	0	2	5	2	6	4	23	38	6	6	6	21	11	14	70	18	4	1	2	197
														疑い:1	疑い:1	疑い:1		疑い:1	疑い:5	疑い:1	疑い:2	疑い:1	疑い:1			
月	令和4年												合計	令和5年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
件数	23	65	42	19	8	5	111	112	38	15	43	83	564	37	10	3	12									62
														疑い:3	疑い:5	疑い:2	疑い:3	疑い:3		疑い:27	疑い:21	疑い:14	疑い:2	疑い:13	疑い:26	
														疑い:5	疑い:3	疑い:2	疑い:2									

総合計
846

60.9%	15.5%	23.6%	合計
自宅	その他	転院搬送	
515	131	200	846
自宅・施設療養者(内数)			0
239	38		277
46.4%	29.0%		



イ 救急車内の感染対策【消防本部管理課】

救急車内の患者室と呼ばれる車両後部にクリアシート（ビニール製）を活用し、簡易間仕切りと車内養生を行い、救急隊員の安全管理と二次感染防止（飛沫感染）対策を図りました。傷病者を医療機関へ搬送後はシートと感染防止衣等を廃棄し、隊員や救急車内の消毒、換気、新しいシートを張り替え、次の出動に備えました。

□ 整備内容

救急車6台（予備車を含む。）に飛沫防止のクリアシート（ビニール製）の仕切りを取り付け、救急隊員の精神的負担の軽減を図りました。



ウ 新型コロナウイルス感染症に係る防疫手当【消防本部管理課】

防疫手当は、当時のクルーズ船や政府チャーター機で対応した職員に対し、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための手当の特例として支給されました。

総務省自治行政局公務員部公務員課長より各都道府県総務部長に「新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための防疫等作業手当の特例の運用及び業務体制の確保について」が通知されたことにより、消防本部では、感染症対策が長期化する救急隊員の精神的、肉体的疲労が大きいことから、令和2年4月1日から防疫手当を支給しました。また、新型コロナウイルス感染

者等の搬送後に実施する救急車内及び資機材の消毒作業を行った職員に防疫手当を支給しました。

□ 事業概要

新型コロナウイルス感染症の患者又は、その疑いのある者の身体に接触し、これらの者へ長時間に渡り接して行う業務	日額 4,000円
前号以外の業務（消毒手当を含む。）	日額 3,000円

※令和5年3月17日消防庁救急企画事務連絡「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更」を受け、令和5年5月8日0時より廃止しました。

エ 感染防止資器材の整備【消防本部警防課】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、令和2年度に感染症傷病者の搬送用アイソレーター1台を導入し、予備の高規格救急自動車に常設して主に転院搬送に使用しています。



搬送用アイソレーター

さらに、令和3年度には、折り畳み式で救急自動車内に収納可能な簡易型搬送用アイソレーター（トランスバック）を導入し実働の各高規格救急自動車に積載し救急現場で状況に応じ使用しています。



簡易型搬送用アイソレーター
（トランスバック）

これらの搬送用アイソレーターは、呼気に含まれるウイルスや細菌を特殊なフィルターで集塵し、救急隊員の感染防止を図るものとなっています。また、新型の感染症対策用として備蓄していた消耗品等（感染防止衣及びマスク等）を新型コロナウイルス感染症救急事案等により使用したことで備蓄定数を満たしていないため、令和3年度から2か年計画で補填し、新型コロナウイルス感染症の継続や新たな感染症にも対応できるよう計画的に整備を進めています。

□ 整備内容

運用開始	令和2年8月16日
使用回数	令和6年3月1日現在まで184件
購入金額	1,474,000円（うち、国補助金：737,000円）

◇簡易型搬送用アイソレーター（トランスバック）

運用開始	令和4年1月17日
使用回数	令和6年3月1日現在まで291件
購入金額	購入金額：5台 1,567,500円 （1台 313,500円）

◇感染防止資器材備蓄用消耗品購入

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
主な購入品目及び数量	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止衣(上)1,160着 ・感染防止衣(下) 920着 ・N95マスク 600枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止衣(上)6,960着 ・感染防止衣(下)6,960着 ・N95マスク 2,000枚 ・感染防止用手袋 13,500双 ・メディスンシート 5本 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止衣(上)5,700着 ・感染防止衣(下)5,260着 ・感染症患者搬送用バック 4式

(10) 災害対策

ア 避難所開設・運営ガイドライン【市長室危機管理課】

災害時の避難所開設・運営において、被災者及び避難所担当班員等の安全確保のため、感染拡大防止策の徹底を目的に「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営ガイドライン」を作成しました。このガイドラインに基づき、避難所担当班員を対象とした避難所開設・運営訓練を実施しました。

□ 実績

- ・ 避難所開設・運営ガイドライン 令和2年7月策定
- ・ 座学訓練 令和2年7月20日・21日、延べ約130名参加
- ・ 実地訓練 令和2年8月14日・25日、延べ約100名参加



イ 「災害時等における自治会館等の補助的避難所としての活用に関する覚書」 の締結【市長室危機管理課】

新型コロナ禍において、地震災害、風水害又はその他の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、40か所の自治会館等を補助的避難所として活用することに関し、海老名市自治会連絡協議会と覚書を締結しました。

(11) 学校教育

ア 小・中学校における感染予防【教育部教育総務課】

<p>主な感染予防、拡大防止のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陽性者の発生した教室等を消毒液により清拭、空間には塩素ミストの噴霧により消毒を実施しました。 ・学校施設対応マニュアルを策定し、校内除菌作業の手順確認を図りました。 ・国の補助金を活用し、感染防止対策のための物品（マスク・体温計・除菌用品・フェイスガード等）を配布しました。 ・次亜塩素酸水の無償配布及び次亜塩素酸水生成器を18校に寄付金を活用して設置しました。 ※有馬小・中学校で1台
--------------------------	---

□ 実績（令和3年12月31日現在）

年度	補助事業名	補助額	交付決定	対象事業
令和2年度	感染症対策のためのマスク等購入支援事業（国の第1次補正）	1,802,000円	R2. 8. 5	感染症対策物品購入
	学校再開に伴う支援事業感染症対策・学習保障等に係る支援事業（国の第2次補正）	35,000,000円	R2. 8. 24	感染症対策物品購入、各学校へ50万円配当、ipad購入、歯鏡滅菌
	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（国の第3次補正） ※令和3年度へ繰越	14,000,000円	R3. 3. 8	感染症対策物品購入、各学校へ20万円から30万円配当、加湿機能付空気清浄機
令和3年度	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	1,750,000円	R3. 11. 8	各学校へ10万円から14万円配当、抗菌コーティング工事（小学校支援級）

※補助率2分の1

イ 小・中学校における消毒作業【教育部教育総務課】

児童・生徒が新型コロナウイルスに感染していることが判明した場合に、速やかに専門業者による消毒作業を実施し、学校運営に支障をきたすことがないよう対応しました。また、令和4年度以降は、専門業者による消毒ではなく、学校職員等による日常の消毒作業を行いながら学校を運営しました。

□ 実績

- ・ 令和2年度 6月1件
11月3件
- ・ 令和3年度 9月6件
- ・ 令和4年度 各校で適宜実施



ウ 全小・中学校休校までの経過【教育部教育総務課】

令和2年2月27日新型コロナウイルス感染症対策本部長の安倍首相から「全国の小中学校及び高等学校の休校について要請がある」との報道がされました。これを受け、学校の設置者である市長との協議のもと、令和2年3月2日から春休み前の3月25日までを臨時休業とすることを市としての方向性として確認し、学校の臨時休業等についての最終決定は教育委員会が行いました。

休校期間	会議名等	告示日
①令和2年3月2日から令和2年3月25日まで	令和2年2月臨時会議案可決	令和2年2月28日
②令和2年4月6日から令和2年4月17日まで	令和2年4月臨時会議案可決	令和2年4月3日
③令和2年4月18日から令和2年5月6日まで	海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項に基づき教育長が臨時に代理し指定しました。	令和2年4月8日
④令和2年5月7日から令和2年5月31日まで		令和2年5月5日

※③及び④について、令和2年5月臨時会にて、報告・承認されました。

○全小・中学校の臨時休業期間中の対応【教育部教育支援課】

令和2年3月2日からの臨時休校により、休業期間中における学校・児童・生徒への安全安心の確保、学びの保障のための取り組みを実施しました。

□ 実績（令和3年12月31日現在）

①新型コロナウイルス感染症に係る「臨時校長会」及び「市教委・学校対策会議」の開催

②小中学校の臨時休校措置

- ・令和2年3月2日から令和2年3月25日まで
- ・令和2年4月6日から令和2年5月31日まで

③小学校校庭開放事業

令和2年3月9日、12日、13日の午前10時から午前11時30分まで小学校校庭を開放し、延べ7,094人の在宅で生活する子どもたちの運動不足やストレスを解消し、リフレッシュを図りました。

④児童の居場所としての小学校の活用

令和2年4月8日から6月12日までの期間中の44日間に、自宅等で子どもだけで過ごすことが難しい1年生～4年生児童や特別支援級の児童

を在籍している小学校で受け入れ、延べ12,303人の児童に教員が見守りや学習支援等を行いました。

⑤家庭での規則正しい生活や学習習慣の定着などを応援すること目的に、教育委員会職員による子どもたちへのメッセージ動画を作成し、令和2年4月20日から配信、5月には教員等による学習応援動画を限定公開しました。

⑥家庭学習支援

既に中学校で導入していたオンライン自主学習教材を令和2年4月から小学校にも導入し、希望者への情報機器の貸出しと併せて家庭学習の支援を行いました。

⑦6月1日からの学校再開に向けて

- ・5月25日から登校日を設定
- ・6月1日から6月12日まで分散登校を実施

⑧保健室における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成

⑨学びの保障

臨時休校期間中の学びを保障するため、夏季休業及び冬季休業の短縮、一部土曜日を稼業日としました。

エ ～未来を生きる～緊急総合パッケージの実施【教育部就学支援課】

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、家計が急変した世帯に対し、未来を担う児童生徒及び高校生のために、ライフステージに応じた緊急総合パッケージとして、スクールライフサポート制度の充実及び奨学金支給の拡充を実施しました。

□ 事業概要

対 象 者	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険税減免対象者 ・給与所得者については、次の要件を満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、前年より10分の3以上の減収の者 ・生活保護基準に基づき算定した生活費の1.4倍以下であることが見込まれる者
認 定 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・従来認定は、前年所得による認定 ・令和2年度に、新型コロナウイルスの影響により、所得が急変した世帯について制度の対象として追加し、令和3年度も事業継続

□ 未来を生きる緊急総合推進事業費 実績

- ・スクールライフサポート事業

[令和2年度] 小学校10名、中学校3名 計13名

[令和3年度] 小学校0名、中学校2名、計2名

[令和4年度] 小学校6名、中学校0名、計6名

- ・奨学金

[令和2年度] 制度適用者 26名

※未来を生きる緊急総合推進事業費は令和2年度のみのものであり、令和3、4年度のスクールライフサポート事業については、スクールライフサポート事業費から執行しました。

オ 学校給食の対応【教育部就学支援課】

小・中学校の給食提供について、小学校の臨時休業に伴う措置のほか、給食の安定供給のための取り組みに加え新型コロナ禍における保護者の負担軽減に関する措置を講じました。

□ 実績（令和5年5月19日現在）

令和元年度		・学校臨時休業中の給食停止によるフードロスの対応として、食材の有効活用を図りました。
		・臨時休業に伴い、小学校給食費について未喫食分一人あたり3,100円を返還しました。
令和2年度		・小学校臨時休業の延長に伴い、給食費の見直しを行い年額及び納期限の変更の措置を講じました。
	変更前	年間44,000円 185食の提供
	変更後	年間40,000円 170食の提供 ・学びの保障のための土曜稼業日について、給食の提供を行いました。 ・臨時休業に伴う中学校給食の発注減について、損失補償を行いました。
令和3年度		・4月に小学校給食費を改定 (年額44,000円から49,500円に変更)
		・新型コロナ禍であることを踏まえ、保護者負担分について激変緩和措置を講じた。 給食費年額49,500円 (保護者負担額45,850円＋公費負担額3,650円)
令和4年度		・令和3年度に引き続き、保護者負担分の激変緩和措置を講じた。 給食費年額49,500円 (保護者負担額47,700円＋公費負担額1,800円)

カ 海老名市立小中学校「学校の新しい生活様式」ガイドライン

【教育部教育支援課】

【教育部就学支援課】

臨時休校期間(令和2年3月2日から令和2年3月25日まで、令和2年4月6日から令和2年5月31日まで)の後、学校再開にあたり令和2年5月27日付け「海老名市立小中学校の学校再開ガイドライン」を策定しました。その後の学校教育活動について、「新型コロナウイルス感染症に係る市教委・学校対策会議」においての協議をもとに、共通理解が必要となる追加事項を整理し、『海老名市立小中学校「学校の新しい生活様式」ガイドライン』を作成し、「新型コロナウイルス感染症に係る市教委・学校対策会議」において定めた「地域の感染レベル」に基づいた学校での行動基準を定めました。

令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の分類が「二類」から「五類」に引き下げられたことに伴い、ガイドラインは廃止し、海老名市立小中学校においては、今後、コロナ禍で身についた基本的な保健衛生に係る取り組みを継続し、引き続き学校教育活動を行っていくこととし、全小中学校へ保健指導をするよう指示しました。

□ 実績（令和5年5月19日現在）

	策定・改訂日時	名称	地域の感染レベル	備考
1	令和2年5月27日	海老名市立小中学校の学校再開ガイドライン		～5/31臨時休業6/1～12 分散登校
2	令和2年7月1日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル1	教育課程再編成
3	令和2年11月1日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル1	健康管理カード導入開始
4	令和2年12月1日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル2	11月中旬から感染者増加傾向
5	令和3年1月8日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル3	1/7 緊急事態宣言発出
6	令和3年4月1日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル2	4/1～リバウンド防止期間・4/16～まん延防止措置等重点措置対象
7	令和3年7月1日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル1	6/21まん延防止措置等重点措置解除
8	令和3年8月23日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル3	8/2 デルタ株感染拡大により緊急事態宣言発出
9	令和3年9月3日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル3	8/27 2学期開始登校時検温
10	令和3年10月1日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル2	10/1 緊急事態宣言解除
11	令和3年10月16日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル1	感染者数減少続く
12	令和3年12月22日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル1	年末年始に向けて
13	令和4年1月20日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル2	オミクロン株感染拡大により1/21よりまん延防止措置等重点措置対象
14	令和4年2月24日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル2	～3/6 まん延防止措置等重点措置延長
15	令和4年3月22日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル2	3/22 まん延防止措置等重点措置解除
16	令和4年4月5日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル2	新入学の時期に向けて
17	令和4年5月18日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル2	レベル1に向けての更なる収束局面
18	令和4年6月7日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル1相当	学校生活における児童生徒のマスクの着用
19	令和4年8月19日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル1	2学期始業に向けて
20	令和4年9月8日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	レベル1	療養期間等の見直しについて
21	令和5年4月1日	「学校の新しい生活様式」ガイドライン	定めない	学校教育全般で活動制限なし、マスクの着用をしないことが基本

キ 新型コロナ禍におけるGIGAスクール構想【教育部教育支援課】

ICT機器整備については、教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）に基づき、3クラスに1クラス分の端末整備として、地方財政措置が講じられ、これに基づき端末整備を進めてきました。

令和元年度において、新学習指導要領におけるプログラミング教育の充実を踏まえ、令和5年までに1人1台端末の整備を目指す方針が閣議決定され、GIGAスクール構想の実現を目指すこととなりました。

こうした中、令和2年3月の新型コロナウイルス感染症へ対策として小・中学校の一斉休校とされたことにより、1人1台端末の家庭学習への活用も期待されることとなりました。

令和2年4月には、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が、閣議決定され「令和5年までの児童生徒1人1台端末の整備スケジュールの加速、学校現場へのICT技術者の配置支援、在宅・オンライン学習に必要な通信環境の整備を図るとともに、在宅での端末等を用いた問題演習による学習・評価が可能なプラットフォームの実現を目指す」ことが示されました。

これまでの情勢を受け、1人1台端末の整備及び新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、ハイブリット型のオンライン授業が可能となるよう市教育委員会として取り組みを行いました。

□ 実績（令和4年3月31日現在）

	種別	2018年	2019年	2020年	2021年
小学校	i Pad(LTEモデル)	657台	1,110台	1,740台	1,763台
	i Pad(Wi-Fiモデル)			6台	5,228台
中学校	Chromebook			3,634台	3,660台
合計		657台	1,110台	5,380台	10,651台

※中学校のChromebookは2020年度に、小学校のiPadは2021年6月に確保済み。

○オンライン授業への対応

家庭における接続環境の調査を行い、国庫補助を活用して114台のWi-Fiルーターを購入し、令和4年1月から貸出を開始しました。また、授業配信用機材である端末やカメラを購入し、オンライン授業実施に向けた体制を整備しました。

ク 海老名市修学旅行における新型コロナウイルス感染防止対策補助金

【教育部教育支援課】

修学旅行に関する感染防止対策に要する割増経費相当額（交通費、宿泊費等の追加料金等）に対し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、修学旅行を安全・安心に実施するため、令和3年度に補助金を新設しました。

補助金の上限額は、小学校児童一人あたり2,500円、中学校生徒一人あたり7,500円と設定し、学校長に対し交付しました。

□ 令和3年度実績

小学校名	人数	金額	中学校名	人数	金額
海老名小学校	134人	335,000円	海老名中学校	0人	0円
柏ヶ谷小学校	75人	187,500円	有馬中学校	171人	1,282,500円
有鹿小学校	113人	282,500円	海西中学校	0人	0円
有馬小学校	48人	120,000円	柏ヶ谷中学校	201人	1,507,500円
大谷小学校	95人	237,500円	大谷中学校	153人	1,147,500円
上星小学校	113人	282,500円	今泉中学校	215人	1,612,500円
中新田小学校	76人	190,000円	合計	740人	5,550,000円
門沢橋小学校	94人	235,000円			
東柏ヶ谷小学校	62人	155,000円			
社家小学校	66人	165,000円			
杉久保小学校	88人	220,000円			
今泉小学校	110人	209,800円			
杉本小学校	97人	242,500円			
合計	1,171人	2,862,300円			

□ 令和4年度実績

小学校名	人数	金額	中学校名	人数	金額
海老名小学校	159人	397,500円	海老名中学校	150人	1,125,000円
柏ヶ谷小学校	64人	160,000円	有馬中学校	200人	1,476,000円
有鹿小学校	92人	230,000円	海西中学校	161人	1,207,500円
有馬小学校	43人	107,500円	柏ヶ谷中学校	202人	1,515,000円
大谷小学校	84人	210,000円	大谷中学校	186人	1,395,000円
上星小学校	111人	277,500円	今泉中学校	199人	1,492,500円
中新田小学校	69人	172,500円	合計	1,098人	8,211,000円
門沢橋小学校	92人	230,000円			
東柏ヶ谷小学校	76人	190,000円			
社家小学校	81人	202,500円			
杉久保小学校	107人	267,500円			
今泉小学校	115人	287,500円			
杉本小学校	77人	192,500円			
合計	1,170人	2,925,000円			

ケ 修学旅行等実施検討会【教育部教育支援課】

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、実施検討会を開催し、修学旅行・野外教育活動の実施可否判断を行いました。

□ 事業概要

中止決定の判断の原則	・学校と協議し、海老名市教育委員会が決定する。
	・実施日に対応して、学校ごとに決定する。 (市内一斉ではない)
	・2段階の判断日で協議し、決定する。
中止決定までの手順	・各校の判断日1日目及び判断日2日目に、海老名市教育委員会と学校が協議する。
	○野外教育活動の場合 ・市教委（教育長）から学校へ電話をして、協議する。
	○修学旅行の場合 ・校長または教頭がこどもセンターに来庁し、市教委（教育長）と協議する。
	・中止を決定した場合は、市教委から保護者宛文書を校支援メールで送信する。
留意点	・学校は保護者宛文書を印刷して、児童生徒を通して保護者へ配付する。
	・教育長に代わって、教育支援課長または就学支援課長と協議する場合がある。
	・状況により、判断日以外にも協議する場合がある。

コ 修学旅行等キャンセル料補助金交付【教育部教育支援課】

海老名市立小中学校が実施する修学旅行等が、新型コロナウイルス感染症拡大等災害の影響により中止、延期又は不参加とせざるを得なくなった場合に発生するキャンセル料について、児童生徒の保護者の経済的な負担の軽減を目的として補助金を交付しました。

□ 事業概要

対象者	修学旅行等に参加申し込みをしたが、災害等の影響により中止、延期、または不参加となった児童生徒の保護者
交付額	・中止、延期の場合はキャンセル料と同額 ・不参加の場合小学生の保護者10,000円、中学校3年生の保護者15,000円を上限としてキャンセル料と同額
	(令和3年度以降) 小学校6年生の保護者10,000円、中学校3年生の保護者15,000円を上限としてキャンセル料と同額

□ 令和2年度実績

学校名	人数	補助額
海老名小学校	1人	7,904円
海老名中学校	4人	37,200円
有馬中学校	1人	4,703円
大谷中学校	2人	11,918円
今泉中学校	2人	22,360円
合計	10人	84,085円

□ 令和3年度実績

学校名	人数	補助額
大谷小学校	4人	3,432円
有馬中学校	7人	54,720円
海西中学校	1人	7,210円
合計	12人	65,362円

□ 令和4年度実績

学校名	人数	補助額
海老名中学校	4人	53,904円
柏ヶ谷中学校	1人	15,000円
大谷中学校	2人	30,000円
今泉中学校	1人	11,189円
合計	8人	110,093円

サ 学童保育事業への支援【教育部学び支援課】

令和2年3月の市立小学校の臨時休校に端を発し、利用する保護者への支援として、学童保育事業を運営する事業者への新型コロナ禍における円滑な運営に支援を行いました。

□ 令和2年度実績

①学校休業に伴う学童支援単位へ支援
学校臨時休業期間中、すべての学童保育事業所が午前中から開設しました。 <ul style="list-style-type: none">・国庫補助を活用し、午前中からの開設に係る人件費等を支援・マスク・次亜塩素酸水等の感染拡大防止のための物品を配布・令和2年3月9日から学校臨時休業期間中における昼食を2社から提供・令和2年4月海老名市学童保育連絡協議会からの「緊急事態宣言発令に伴う学童保育の対応に関する要望書」を受け、①感染拡大と防ぐための措置、②条例及び補助金要綱の緩和、③緊急事態宣言下における学童保育所の財政面の支援について、要望を了とする回答を行いました。・学童保育所の安定的な運営のため緊急事態宣言発令中の利用自粛とともに真に利用を必要とする保護者への保育継続の通知を发出
②財政的支援
国庫補助を活用し、各支援単位における感染拡大防止のための空気清浄機等の備品整備を支援

□ 令和3年度実績

- ・国庫補助を活用し支援単位における感染症対策のための消耗品等の購入費、ICT化の推進に係る経費及び臨時休業となった学童保育クラブの保育料の返還に係る経費を支援
- ・学童保育事業の安定的な運営のため、海老名市学童保育連絡協議会との連携強化を図りました。
- ・学童保育クラブの支援員から陽性者が発生した際の対応を市教委で支援しました。
- ・運営に関するガイドラインを作成し、感染症対策の指針を示しました。

□ 令和4年度実績

- ・令和3年度に引き続き、国庫補助を活用し、支援単位における感染症対策のための消耗品等の購入費、ICT化の推進に係る経費を支援しました。
- ・新たに、非接触型水栓や抗菌仕様のトイレへの改修など、感染症対策のための施設改修に係る経費を支援しました。
- ・運営に関するガイドラインを作成し、感染症対策の指針を示しました。

□ 令和5年度実績

- ・令和3・4年度に引き続き、国庫補助を活用し、支援単位における感染症対策のための消耗品等の購入費、ICT化の推進に係る経費を支援しました。

シ 成人式の開催【教育部学び支援課】

令和3年1月11日（月）海老名市文化会館にて開催予定であった成人式について、新型コロナウイルス感染状況を鑑み延期を決定しました。その後、感染症対策の徹底と参加人数を軽減するための措置を取り、令和3年3月21日（日）海老名運動公園総合体育館にて開催しました。

開催要領は、新成人を2分割し、出身中学校ごとの2部制で実施するとともに、会場を海老名市文化会館から海老名運動公園総合体育館に変更しました。また、参加者にはあらかじめ使用するデバイスに厚生労働省や神奈川県のコロナ通知アプリ等の事前登録をお願いするとともに、会場ではマスクの着用、検温及び手指消毒を徹底し、さらに座席の間隔を前後左右1m以上空けるなどの対策をとりながら、実施しました。

なお、令和3年度は同様の対策を講じた上で、例年通り成人の日に海老名市文化会館で開催しました。令和4年度からは、成人年齢が引き下げられたことにより、名称を「海老名市二十歳の祝典」と改め、引き続き、マスクの着用、検温、手指消毒及び座席制限を行いながらの実施となりました。

令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の五類移行に伴い、従前同様に開催することができました。



□ 実績

令和2年度 場所：海老名運動公園総合体育館

	学校名	人数	備考
第一部	海老名	127人	対象者数 1,318人
	柏ヶ谷	185人	
	今泉	133人	
	その他	10人	
第二部	有馬	138人	参加者数 873人
	海西	140人	
	大谷	136人	
	その他	4人	
		873人	参加率 約66%

令和3年度 場所：海老名市文化会館

	学校名	人数	備考
第一部	海老名	170人	対象者数 1,361人
	柏ヶ谷	198人	
	今泉	154人	
	その他	32人	
第二部	有馬	188人	参加者数 1,055人
	海西	140人	
	大谷	157人	
	その他	16人	
		1,055人	参加率 約77%

令和4年度 場所：海老名市文化会館

	学校名	人数	備考
第一部	海老名	153人	対象者数 1,343人
	柏ヶ谷	178人	
	今泉	179人	
	その他	38人	
第二部	有馬	165人	参加者数 1,032人
	海西	148人	
	大谷	159人	
	その他	12人	
		1,032人	参加率 約77%

令和5年度 場所：海老名市文化会館

	学校名	人数	備考
第一部	海老名	183人	対象者数 1,314人
	柏ヶ谷	187人	
	今泉	139人	
	その他	29人	
第二部	有馬	161人	参加者数 1,002人
	海西	138人	
	大谷	141人	
	その他	24人	
		1,002人	参加率 約76%

(12) 市議会

ア 議会運営【議会事務局】

(ア) 本会議

- ・令和2年3月定例会 一般質問を中止
- ・令和2年6月定例会 一般質問を1日に短縮
- ・令和4年3月定例会 代表質疑及び一般質問は、開議後に着席する議員を半数程度とし、座席の間隔を開けました。

(イ) 常任委員会

- ・令和2年3月定例会から令和3年9月定例会まで及び令和4年3月定例会は、第3委員会室での別室傍聴としました。
- ・令和4年3月定例会のまん延防止等重点措置の適用期間中に開かれた常任委員会は、委員の座席の間隔を開けて着席しました。

(ウ) 議会報告会

例年3会場で実施していた議会報告会を令和2年から令和4年までは、YouTube配信での報告としました。

イ 海老名市議会災害対策会議【議会事務局】

令和2年3月2日、各派代表者会議の構成メンバーで「海老名市議会災害対策会議」を設置し、議会としての情報収集、情報提供を中心に行いました。なお、本対策会議結果については、タブレット配信及びメール通知により議員に情報提供することを令和2年4月8日に決定しました。

□ 開催実績 令和2年に計13回開催

- ① 3/ 2 ② 3/ 3 ③ 3/ 6 ④ 3/12 ⑤ 3/16 ⑥ 3/25 ⑦ 3/27
⑧ 4/ 3 ⑨ 4/ 8 ⑩ 4/10 ⑪ 4/22 ⑫ 4/30 ⑬ 5/28

- ・議長は、令和2年3月9日付けで市長に対し、新型コロナウイルス感染拡大防止策に関する要望書を提出しました。

□ 要望事項

- ・小・中学校の「臨時休校」実施に伴う諸課題について
- ・高齢者・障がい者等移動困難者への支援策について